



アマリリスと♪

唯先生の

わたしがこどもだったころ...

今回、久しぶりに自分の小さい頃の写真を見返してみました。母と写真を見ながら、写真の思い出話をして盛り上がりました。そしたら、両親がある写真を探していました。それは、アマリリスという大きなお花と私の写真でした。その時の自分の背丈くらいあって真っ赤な花が咲いている時に一緒に撮りました。この写真は私も好きな写真です。昔の写真をいろいろ見て両親も懐かしくなったようでした。ちなみに一緒に載せた写真がそうです。

私には6つ離れた兄がいます。年が離れていたこともあってそんなに一緒にいた記憶がないけど、唯一家の廊下でサッカーをして遊んでいた記憶があります。でもよく意地悪をされ泣かされることも多くて、そのたびに母に泣きついていました。今思うと、仲がいいのか悪いのかよくわかんなかったです。(笑)

そして、私の両親は共働きだったので祖父母といることが多かった私は、とてもおじいちゃん子でした。よく家の近くの牛舎に牛を見に連れてってもらったり、買い物も一緒にいたり、お風呂にも一緒に入っていました。たまに一緒に寝ることもあったような気がします。多分誰よりもおじいちゃん子でした。(笑)

家族と写真を通して話せたこと、亡くなった祖父のことを思い出せたことが本当に良かったです。今までの思い出をこれからも大切にしていきたいです。



ゆい4さい♪



こどものつぶやき
＼ことば＆アート／

空き箱でバックを作った4歳児のAくん。

M先生「なに入ってるの??」
Aくん「まだなにもはいてないよ!」
M先生「そっか〜。
じゃあ、夢と希望をつめるんだよ!」
Aくん「え?うめとごほうは、いれないよ!!」

あかくみ
3歳 Yちゃんの作品



夕方、3歳児のNくんと曇ってきた空を見て「雨降ってきそうだね」と話をしていると…。

Nくん「あめ?かみなりとおにもふる??」

2歳児さんではだれかが歌をうたい始めると、みんな口ずさみはじめます。この日は「かたつむり」♪Sちゃんも熱唱!

Sちゃん「つのだせ、やりだせ、おもしろい!!」

大好きなクラス担任のM先生(男性保育士)のことを話始めたHちゃん。一緒にテーブルで給食を食べていた4歳児YくんとAくんとH先生が聞いていました。

Hちゃん「Mせんせい、あしはやいんだよ〜!!」
Yくん「どうして?」
Hちゃん「おとなだからじゃない??」
H先生「せんせいもおとなだけど、あしおそいよ〜。なんでだろう?」
Aくん「・・・からだおもしろいからじゃない😊」

……ぶっくえんど……

みなさんのこの夏の楽しみはなんですか?私のお楽しみは…♪一番下の娘には内緒で…🍷🍷上の娘達と3人で、ちょっぴり大人チーム女子旅をすること♥です!!

昨年は米沢を飛び出しちょっと遠出をして、ピザやパスタを食べたり、旬の桃を食べたり、ソフトクリームを食べたりしました♪(食べてばかり!)その場その場でおいしいものの写真を撮るのですが、「ママ!その角度じゃないでしょ!!」なんて言われながら、映え写真の撮り方を伝授してもらいました(笑)

今年はどこに行こうかな〜♪わくわくしながらこっそり計画を立てています🍷

ぶらんこ担当 坂野 春佳

ぶらんこ

第130号 2026年7月30日
松ヶ岬保育園
〒992-0059
米沢市西大通1丁目6-56
TEL21-0349/FAX21-0369
E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp
http://www.syogokai.jp/matsugasaki/








2026 まつかさまつり







1 「ぶらんこ」第130号 2026/7/30 松ヶ岬保育園



こどもファースト



～食事編・幼児～

昨年度は子どもたちの主体性が感じられるエピソードをクラスごとに紹介してきました。今年度は、子どもたちの姿を保育者がどのように受け止め、どのように応えているのかをお伝えします。



2年前、年長女児の一言で始まったランチルームの「レストラン」。カフェテリア方式の形態をベースに、装飾などを少しリニューアルしながら続けています。食事時間は11時10分～12時30分。時間内で自分の好きな時間に、好きな席で食事をします。あかくみ（3歳児）は「〇〇ちゃん、一緒に食べよ！」と誰かと一緒に食べるのを楽しんだり、あえて一人でゆったりと食べたりしています。たいていの子は保育者が行くのに合わせていくのですが、「もうちょっと遊んでから行く。」という子も出てきました。きいろくみ（4歳児）は、保育室から友だちと話し合い、椅子の座り方まで決めていきます。実際にランチルームに来ると、思うように席が空いておらず再度話し合うこともしばしば。順番待ちの紙に人数と名前を書いて待つこともあります。（この待っているのも楽しみたい。）あおくみ（5歳児）になるともう少し複雑になります。当番活動があるので、当番活動の前に食事を済ませることもあれば、席が空くまでの待っている時間に当番活動をすることもあります。食事に入る時間が遅くなり時間内に終われなくなりそうなときは、集団で食べるより、少人数で空いている席にすぐに入って食事をしています。



以前に比べ、一人ひとりが自分のペースでしっかりと食事をするようになりました。雰囲気良くなり子どもたちも保育者もほっとするととても良い時間となっています。今後も子どもたちの姿や声から変化を持たせつつ子どもたちにとって大切な時間となるように取り組んでいきます。



私がおすすめしたいのが自家製麺 心心です！子ども連れでも利用しやすく、家族みんなで何度も通っているお気に入りのラーメン屋さんです♡

店内には小上がり席が2席あるので、小さな子どもと一緒にゆっくり食事ができます。お子様ラーメンセットやお子様チャーハンセットもあり、家族みんなで楽しめます♪

心心の魅力は、自分好みに麺をカスタムできることで、細麺・太麺、ちぢれ麺・ストレート麺などを選べます！しかも注文はタブレットなので、店員さんを待たせることなくゆっくりカスタムを選べるのも嬉しいポイントです！私のおすすめは醤油つけ麺×細ちぢれ麺！何度食べてもまた食べたくなるお気に入りです🍜

さらに、7月13日からはお子様限定でわたあめ作りもスタートするらしく食後の楽しみが増えて、子どもたちも喜ぶだろうと思っています！

子連れでも気軽に利用しやすいので、家族でラーメンを楽しみたい方に、ぜひおすすめしたい一軒です♡

ちなみに写真はパパが頼んだ濃厚つけ麺です！角切りチャーシューとほうれん草トッピングが最高らしいです！

紹介してくれるのは…？

びっころ 清くん・湊くん・清くんのお母さん
佐々木 莉奈さん



ぶらんこ版！
給食室から
こんにちは！

献立表に不定期で掲載している「給食室からこんにちは！」が、今年度はぶらんこにも出張することになりました！1年間お付き合いください！

少しまじめなお話ですが、国が推進する食育計画の中に「共食（きょうしょく）」という言葉が挙げられています。共食とは“誰かと一緒に食事をすること”です。一緒に食べる「誰か」の存在って、実はすごく大きいんですよ～！

先日、おやつ時間にMくんが『今日のおやつ食べたくない！』と教えてくれました。「そっか、食べたくないのか。じゃあ牛乳だけでも飲んでみる？」と声をかけました。Mくんは少しふてくされて、おやつをもらう列へ。どうするのか見守っていると、たまたまMくんの前に並んでいたTちゃんが『これ、私の好きなやつ！おかわりするー！』と話しているのが聞こえ、「Tちゃんはこのおやつ好きなんだって」と何気なく話をしました。すると、あんなに食べないと言っていたMくんが、しっかりとおやつをもらい、しっかりと完食！「ごちそうさまでした！」と食器を返しに来てくれたのです。「おいしかった？」と聞くと、にやりと笑って立ち去っていきました。MくんとTちゃん是一緒のテーブルで食べていたわけではありませんが、“Tちゃんが好きなおやつ、どんな味だろう、食べてみようかな”とMくんの心が動いたのは確かです。一緒に食べるお友だちの存在って大きいなと感じた出来事でした。

一緒に食べて「おいしいね」と共感できる相手がいることは、子どもたちの心を安定させてくれます。食事をしながら会話をすることで、嬉しかったことや悔しかったことを共有したり、苦手なものが食べられなくても「大丈夫」と受け止めてもらえることで、安心して食事に向き合うことができます。

園でも、食事やおやつの時間は安心できる楽しい時間であってほしいと願いながら、日々子どもたちと向き合っています。

忙しい生活の中で、“食事をしているうちにあれを終わらせておきたい”と思うこともあるかもしれませんが、少しだけお子さんと会話を楽しみながら一緒に食事をしてみてください。きっとお互いに心も体も満足する食事の時間になるのでは…と思います😊



～将来のあなたへあてたお手紙です～



大きくなったきみへ

心くんのお父さん
江口 徹さん

20歳の心へ!!

コロナ禍のため、ママの出産に立ち会えず、退院してからが初めての対面でした。あんなに小さかった心が20歳になった時にどうなっているか全く想像が付きません。パパみたくイケメンになっているかな(笑)…。それともパパを超えていますか？

今、あおぐみの心は毎日明るく楽しく保育園のお友だちや先生と過ごしています。家に帰ると保育園での出来事や給食のメニュー・おやつのことなど色々なことを教えてくれます。パパが今毎日の楽しみにしていることは、抱っこしてほしいと可愛く言うてくる心を見ていることと、お風呂でのポケモンクイズです。ポケモンに詳しくないパパを困らせるように一方的に問題を出して、答えられないパパを見てニヤニヤしています。

20歳になっても今のように心らしく、時に甘えて、(何か買ってもらう時は特に甘えます)時にリーダーシップを発揮しながら生きていってほしいと思います。

大人になったら良いことだけではなく、失敗すること、うまくいかないことなど色々なことがあると思います。そんな困難も心なら持ち前の明るさと優しきで乗り越えていけるはずですよ。

最後に心へのお願いです。

人はひとりでは生きていけません。周りの人に支えられながら生きています。保育園のおともだちや先生はもちろん、これから出会うたくさんの人に感謝すること。思いやりをもつことだけは忘れないでください。

そして20歳になってもパパを大事にしてね(笑)

その時パパはなかなかの良い年頃になっています。

心に似ているパパより

